

晋平メロディー総選挙

～あなたが好きな晋平メロディーベスト10～ 結果発表

投票者数…719人（票）

順位	曲名	投票者数	好きな理由・エピソード(原文から抜粋)
1	シャボン玉	180	<ul style="list-style-type: none"> ・中山晋平と言えば、まずはこの曲！ ・子どもの頃、祖母とシャボン玉遊びをする時には、いつもこの歌を歌っていました。 ・大人になってから歌詞の意味を知り、とても驚きました。自分の成長とともに、色々な気持ちを抱かせてくれる曲です。 ・落ち込んだ時、このメロディーを聞くと、悲しみの中に穏やかな希望が感じられます。
2	ゴンドラの唄	75	<ul style="list-style-type: none"> ・黒澤明監督の映画「生きる」の挿入歌で、心にしみる曲です。 ・コーラスグループでよく歌っていて、愛着があります。 ・中山晋平が、お母さんが亡くなる前に作った曲。 ・メロディーラインが綺麗で、曲を聴くと涙が出ます。
3	カチューシャの唄	61	<ul style="list-style-type: none"> ・カチューシャの唄は「流行歌」のはじまり。映画「シンペイ」を観てもっと好きになりました。 ・歌詞もメロディーも綺麗な曲です。 ・哀愁を感じさせるメロディーと甘い感じの歌詞が、松井須磨子と島村抱月をも感じてしまう曲です。
4	證城寺の狸囃子	60	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく楽しいテンポのよい曲で、タヌキの様子が想像できます。 ・子どもの頃、タヌキのマネをしてよく歌っていました。今は子どもが楽しく歌っています。 ・100周年おめでとうございます！
5	中野小唄	52	<ul style="list-style-type: none"> ・昔、夏のシヨンシヨンまつりでは、シヨンシヨン囃子だけでなく、中野小唄の曲に合わせた踊りも踊っていました。今は、子どもたちが小学校の運動会で踊っています。 ・「カナカナカノカ ナンセカンセ ドッコイサーのセッセッセー」がとても耳に残ります。
6	東京音頭	40	<ul style="list-style-type: none"> ・私は東京出身なのですが、この曲が中山晋平が作曲したものだと知り、とても驚きました。 ・ヤクルトスワローズのファンです。神宮球場で3万人で歌う東京音頭は最高です！
7	兎のダンス	35	<ul style="list-style-type: none"> ・ソソラホールの名前の由来です！ ・ウサギが楽しそうにはねている、ダンスしている姿が伝わる曲です。 ・小学校の時、運動会で踊った思い出があります。
8	砂山	34	<ul style="list-style-type: none"> ・浜辺の景色が目浮かぶ曲です。 ・情景を思いうかべながら、コーラスグループでいつも歌っています！ ・懐かしく、さびしくも、温かい感じがします。
9	肩たたき	30	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃は、肩をたたきの気持ちよさがわかりませんでした。年齢を重ねるにつれて母が「気持ちいいなー」と言っていたことがわかるようになってきました。『たんたんたんたんたん』が、やさしく、時代を越えて色々な思いがめぐる、優しい気持ちになる曲です。
10	てるてる坊主	28	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の頃、遠足の前はみんなで歌った思い出があります。 ・子どもの頃、両親や兄と、この歌を歌いながらてるてる坊主を作りました。